

# 学校別傾向と対策～広尾学園中学校～

## 算数

### 出題傾向

50分間で大問5～6題の試験になります。平面図形も出題されやすく、角度や面積比のような高校受験でも出題されるような問題が多いです。また、他の中学校と比較すると、規則性や数列、場合の数、約束記号などの数の性質に関する出題されやすい傾向にあります。そのため、難易度はそれほどたかくありませんが、どの単元からも満遍なく学習する必要があります。

### 合格への対策

文章題や図形問題も出題されますが、なにより疎かにしがちな数の性質の出題傾向が非常に高いことが大きな特徴となります。後半の大問1つが数の性質ということが多いため、疎かにすると大きな失点につながります。周期や数列、場合の数の典型的な問題はもちろんのこと、約束記号の問題演習も必要になります。単純にルールに沿って計算をするということだけに留まらず、場合分けをして整理するようなことも問われますので、典型問題を対策するだけでなく、他の中学校の過去問などの生きた問題で演習を行うとよいです。文章題や図形問題に関しては、典型題を抑えていれば、確実に点数に結び付きます。しかし、処理スピードが問われる試験にはなりますので、時間を意識した演習が必要になります。

## 国語

### 出題傾向

漢字の読み書き、知識から1～2題、論理文、物語文からそれぞれ1題ずつという構成です。合格ラインはおおむね6割程度です。選択肢中心ですが、記述問題近年出題されています。問題そのものの難易度は標準的といえます。

### 合格への対策

漢字から知識、読解と幅広く出題され、また設問もオーソドックスなものであることから、まずは目の前のカリキュラム、独学なら標準的テキストをもとに穴なく学習していきましょう。その上でですが、論説文に関して言えば、小学生にとってはやや理解の難しい文が出題されることがありますので、そういう文章が出題されたときでも折れずに根気よく処理していくという耐性をつけておきましょう。文章が難解でも解くための突破口はあります。手持ちの解法パターンを出来るだけ増やしておくことも必要です。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西1-39-1 伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747



# 学校別傾向と対策～広尾学園中学校～

## 理科

### 出題傾向

30分間で50点満点の試験になります。大問は4題で構成され、物理、化学、生物、地学それぞれから出題されます。どの分野も幅広い単元が出題されています。また、単元の幅の広さだけでなく、解答形式にも幅の広さがあります。記号選択や計算はもちろんのこと、記述や作図、理科ではほとんど見られない漢字指定の解答などもあります。問題形式としては、実験からの考察する出題が頻出になっています。

### 合格への対策

幅の広い出題になりますので、関東圏での中学入試において出題頻度が低めな凸レンズや地質柱状図など、集団塾では疎かになりやすい単元の対策が特に必要になります。また、実験考察からの記述問題という形式がよく見られるため、それぞれの単元での実験とその結果や理由をしっかりと押さえておくことが重要になります。そのため、「なぜ～なのだろう？」という気持ちで理科の学習に取り組むことがとても大切になります。

## 社会

### 出題傾向

大問は4題構成です。地理、歴史、公民ともに出題されます。ただ、この学校が特徴的なのは、大問1題の中で地理、歴史、公民と総合的に出題してくるところです。また、これはこの学校に限らず、近年出題が増加しているグラフや資料の読み取りが多く出題されます。

### 合格への対策

満遍なく出題されていますので、知識は基礎的で良いですが、穴を無くすことがかなり重要になります。通常の学習の段階で苦手分野を放置しないようにしておきたいところです。その上で、この学校は世界に関わる出題が多いです。地理なら貿易を含んだ世界地理関係、歴史なら外交、公民なら国連や国際紛争など外国の匂いがする単元には力を入れて学習をすると良いです。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西1-39-1 伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747

